

11月15日（火）落語を楽しむ会再開第一回

コロナパンデミックの様子を見ながら再開第一回例会が開催された。独演会や都内の寄席鑑賞も検討されたが、比較的会場内の環境も良さそうな国立演芸場中席鑑賞をすることになった。

会場の国立演芸場は隣接する国立劇場と共に老朽化対応で建て替えが決まっており、来年10月で一旦閉場され、2029年新装、再開場の予定となっている。50年以上の歴史のある演芸場がどのように変わるのかの期待もあるが、2029年はシニアには長い気もする。



当日は12月初旬並みの寒さの中を14名の会員が参加した。

声の通りは悪いが初々しさの残る前座（女性）の話を聞きながら13時開演を待ちつつ気分が盛り上がる。開演と同

時に来年5月に真打ち昇進する早口の桂翔丸から、漫談、漫才を挟み、トリの三遊亭遊三師匠の「子は銚」まであっという間の約三時間、八組の話を満喫する事が出来た。

最近ではコロナの影響も有りウェブ配信の落語会などを楽しむ方も多いが、久しぶりに寄席の雰囲気味わい、矢張り生公演は良い物だとの思いを強くしながら会場を後にした。

時間	演目	演者
12:15~		
12:45~1:00	<15>	前座
1:00~1:15	<15> 落語	桂翔丸
1:15~1:35	<20> 落語	三笑亭夢丸
1:35~1:50	<15> バイオリン漫談	マグナム小林
1:50~2:10	<20> 落語	桂幸丸
仲入り <15分>		
2:25~2:45	<20> 落語	桂夏丸
2:45~3:05	<20> 落語	三遊亭圓馬
3:05~3:20	<15> 漫才	東京太・ゆめ子
3:20~3:50	<30> 落語	三遊亭遊三

十一月
中席
十一月十五日(火)

次回は来年4月4日（火）さよなら公演の続く国立演芸場上席の鑑賞会を予定している。登録会員には直接連絡する予定です。

